

ヒ-258-3

研究機関：広島大学

【ヒトゲノム・遺伝子解析研究】

研究題目	COVID-19 感染の重症化に関与する遺伝子背景による宿主の遺伝子解析
研究責任者	大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	2020年7月～2023年3月
対象者	広島大学病院の入院時スクリーニング検査で Covid-19 感染が分かった患者さんのうち本研究に同意をされた患者さん及び広島県内で Covid-19 感染症と診断され、COVID-19 指定病院である県立広島病院、広島市立舟入市民病院に入院・退院したまたは新規に入院する患者さんのうち、本研究に同意をされた患者さん。
意義・目的	COVID-19 感染の無症候性経過や重症化の原因については、患者さんの個体差があるということが明らかになっていますが、宿主の免疫関連遺伝子背景による差についてはまだ解明されていません。今回、COVID-19 感染の無症候性経過および重症化に関連する遺伝子解析を行うことで、リスク因子を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。提供いただいた血液から分離した DNA を用いて

研究責任者名 大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹

研究期間 2020年7月～2023年3月

対象者

広島大学病院の入院時スクリーニング検査で Covid-19 感染が分かった患者さんのうち本研究に同意をされた患者さん及び広島県内で Covid-19 感染症と診断され、COVID-19 指定病院である県立広島病院、広島市立舟入市民病院に入院・退院したまたは新規に入院する患者さんのうち、本研究に同意をされた患者さん。

意義・目的

COVID-19 感染の無症候性経過や重症化の原因については、患者さんの個体差があるということが明らかになっていますが、宿主の免疫関連遺伝子背景による差についてはまだ解明されていません。今回、COVID-19 感染の無症候性経過および重症化に関連する遺伝子解析を行うことで、リスク因子を明らかにするため、この研究を計画しました。

方法

本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。提供いただいた血液から分離した DNA を用いて